

# 1 ~アクションマップ~ 多摩川リバーサイド地区

凡例

----- 市域	国際戦略総合特別区域	課題・問題箇所	● バス停	多摩川へのアクセラート
□ 対象地区範囲	都市再生緊急整備地域	交通・道路	○ 鉄道駅	課題解決アクション完了箇所
特定都市再生緊急整備地域	環境	その他	企業・官民連携による取組	
	防災			

SCALE 1/12000

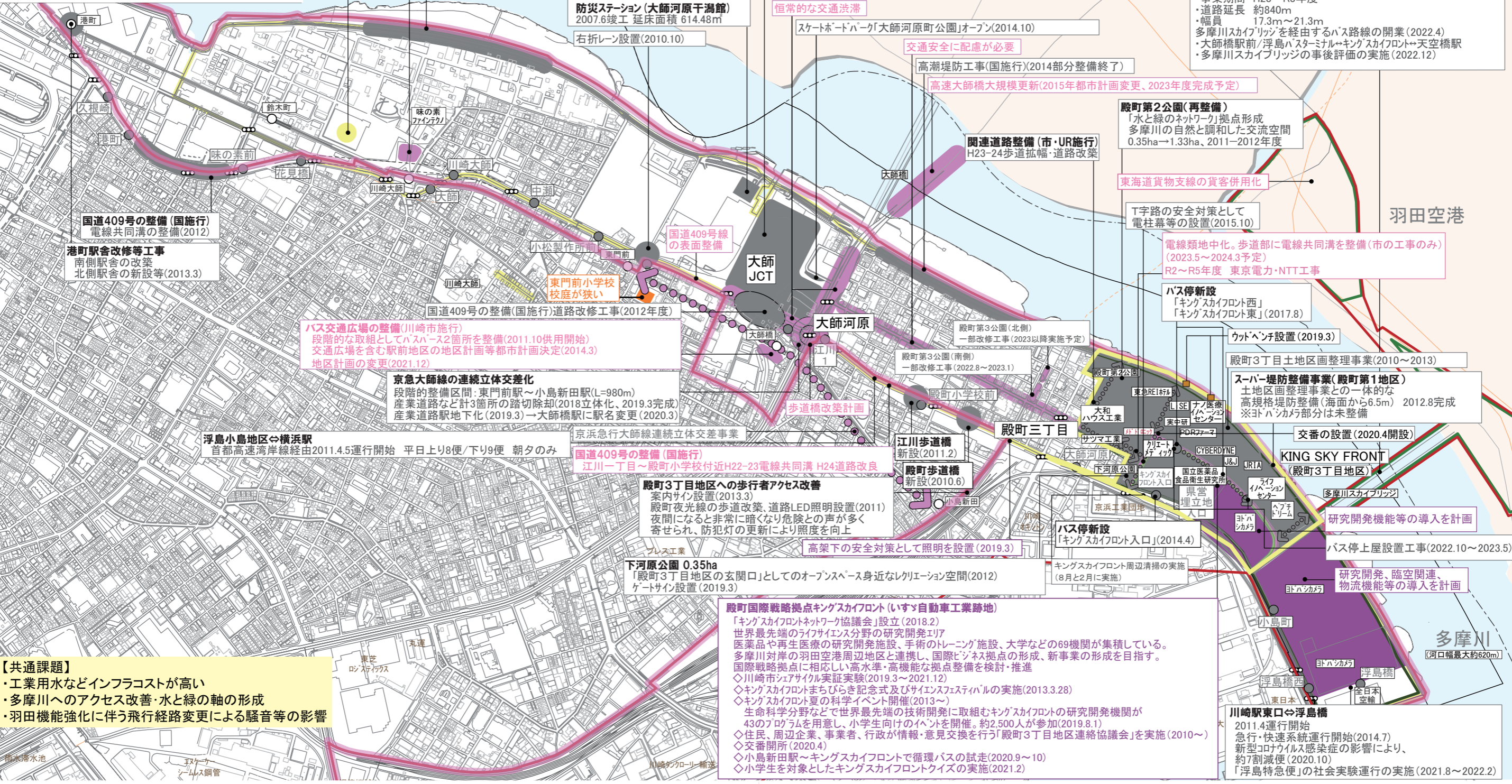


**味の素**  
産業観光施設、工場見学受入  
小学生・中学生向けの環境学習教室  
「夏のリコチャレ2019」を開催(2019.7.29)  
(内閣府・文部科学省・経団連主催)

**川崎大師駅前広場(未整備)**  
計画面積:約1.0ha(うち、北口交通広場:約0.4ha)

**首都高速川崎線:殿町出口~大師JCT 延長2.0km 往復4車線**  
羽田空港、アクアライン、みなとみらい地区へのアクセスが向上  
高速川崎縦貫道(大師ジャンクション)  
首都高速川崎線:殿町出入口~大師JCT(2010.10)  
大師JCT~殿町 平日3000台/日、休日4000台/日  
殿町~川崎浮島JCT 平日5300台/日、休日6000台/日

**多摩川スカイブリッジ** 2022.3.12開通  
羽田空港を中心とした成長戦略拠点の形成を支えるインフラとして、多摩川の架橋により羽田空港跡地区(環状第8号線)と川崎市殿町地区(国道409号)を結ぶ道路を整備  
・事業期間 H28~R3年度  
・道路延長 約840m  
・幅員 17.3m~21.3m  
多摩川スカイブリッジを経由するバス路線の開業(2022.4)  
・大師橋駅前/浮島バスターミナル⇄キングスカイフロント⇄天空橋駅  
・多摩川スカイブリッジの事後評価の実施(2022.12)



**【共通課題】**  
・工業用水などインフラコストが高い  
・多摩川へのアクセス改善・水と緑の軸の形成  
・羽田機能強化に伴う飛行経路変更による騒音等の影響

**殿町国際戦略拠点キングスカイフロント(いすゞ自動車工業跡地)**  
「キングスカイフロントネットワーク協議会」設立(2018.2)  
世界最先端のライフサイエンス分野の研究開発エリア  
医薬品や再生医療の研究開発施設、手術のトレーニング施設、大学などの69機関が集積している。  
多摩川対岸の羽田空港周辺地区と連携し、国際ビジネス拠点の形成、新事業の形成を目指す。  
国際戦略拠点に相応しい高水準・高機能な拠点整備を検討・推進  
◇川崎市シェアサイクル実証実験(2019.3~2021.12)  
◇キングスカイフロントまちびらき記念式及びサイエンスフェスティバルの実施(2013.3.28)  
◇キングスカイフロント夏の科学イベント開催(2013~)  
生命科学分野などで世界最先端の技術開発に取組むキングスカイフロントの研究開発機関が43のプログラムを用意し、小学生向けのイベントを開催。約2,500人が参加(2019.8.1)  
◇住民、周辺企業、事業者、行政が情報・意見交換を行う「殿町3丁目地区連絡協議会」を実施(2010~)  
◇交番開所(2020.4)  
◇小島新田駅~キングスカイフロントで循環バスの試走(2020.9~10)  
◇小学生を対象としたキングスカイフロントクイズの実施(2021.2)

**川崎駅東口⇄浮島橋**  
2011.4運行開始  
急行・快速系統運行開始(2014.7)  
新型コロナウイルス感染症の影響により、約7割減便(2020.10)  
「浮島特急便」の社会実験運行の実施(2021.8~2022.2)